

# バイオスパーズング工法

ベンゼン及び油汚染土壌を微生物の力で分解・無害化する工法です。

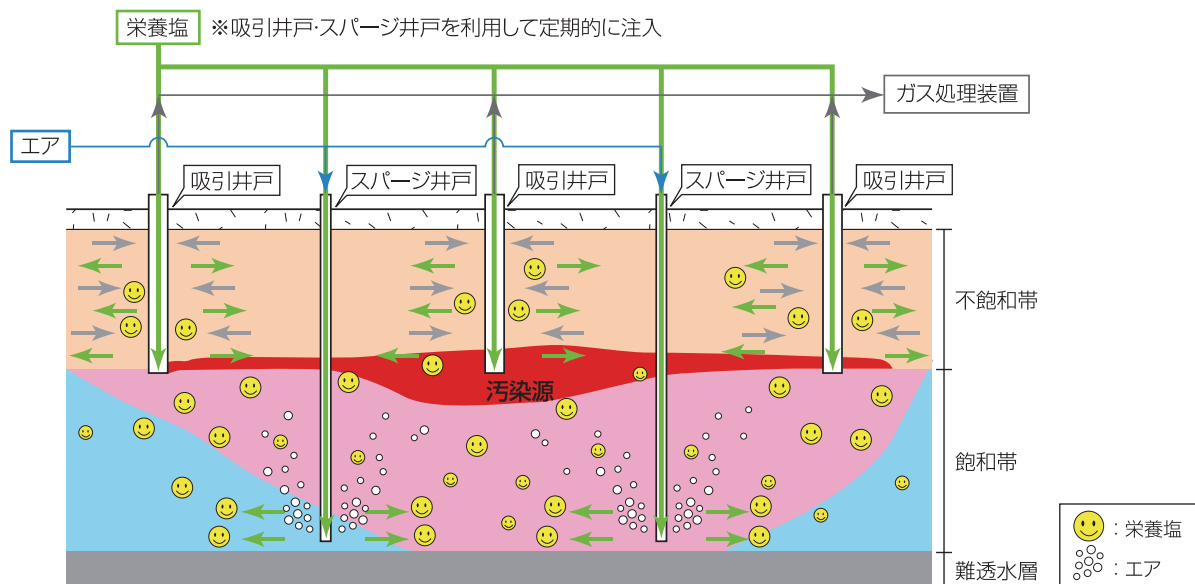
## 概要

### 揮発・回収

- 飽和帯(地下水)に空気を圧入(スパーズング)して、有害物質の揮発を促します。
- 揮発した汚染ガスは不飽和帯に設置した吸引井戸を介し、土壌ガス吸引により回収し、ガス処理装置にて無害化します。

### 分解・無害化

- 吸引井戸、スパーズ井戸を利用して、定期的に栄養塩や促進剤を加えることにより微生物を活性化し、生物学的に汚染物質を分解(バイオレメディエーション)します。



## 実施例

[ 汚染物質 ] ベンゼン  
[ 浄化対象面積及び深度 ] 約 14,700 m<sup>2</sup>、GL -0~-20m



栄養塩・促進剤注入装置



ガス処理装置(触媒酸化装置)